

会場中集会室A			時間	会場中				
番号	座長	報告題目	報告者	番号	座長	報告題目	報告者	
1-1	樽本祐助 (九州沖縄 農業研究 センター)	自給飼料生産型TMRセンターと利 用酪農家における取引契約をめぐる コンフリクト問題の考察	高橋佳祐(九州大学大学院生物 資源環境科学府), 福田 晋(九 州大学大学院農学研究院), 森高 正博(九州産業大学商学部)	9:00~ 9:20	2-1	白武義治 (佐賀大学 農学部)	粉ミルクへのメラミン混入事件が上 海光明食品集団の経営戦略に与 えた影響	小林 修(中村学園大学流通科学 研究科), 甲斐 諭(中村学園大 学流通科学部)
1-2	樽本祐助 (九州沖縄 農業研究 センター)	粗飼料生産・流通システムの効率 性及び安定性—評価のための予備 的考察—	森高 正博(九州産業大学商学 部), 福田 晋(九州大学大学院農 学研究院)	9:20~ 9:40	2-2	白武義治 (佐賀大学 農学部)	中国農産物流通システムにおける 農民專業合作社の果たす役割— その流通機能について—	李 強・福田 晋※(九州大学大 学院生物資源環境科学府)・※九州大 学農学研究院)
1-3	福田晋(九 州大学大 学院農学 研究院)	農商工連携による地産地消の実態 と今後の展開条件—佐賀県西松浦 郡有田町を事例にして—	井手 一郎(佐賀大学大学院農学 研究科)	9:40~ 10:00	2-3	田代正一 (鹿児島大 学農学部)	中国環境保全型農業の現状と課 題	程 波(中村学園大学流通科学研 究科), 甲斐 諭(中村学園大学流 通科学部)
1-4	福田晋(九 州大学大 学院農学 研究院)	大競争時代における農協の米マー ケティング戦略—2004年以降の佐 賀県3JAを事例にして—	緒方 俊介(佐賀大学大学院農学 研究科)	10:00~ 10:20	2-4	田代正一 (鹿児島大 学農学部)	中国太湖のカニ養殖と水質汚染に 関する現状と課題	英格(九州大学大学院生物資源環 境科学府), 矢部光保(九州大学大 学院農学研究院)
1-5	佐藤剛史 (九州大学 大学院農 学研究院)	集落営農の設立要因と展開過程— 宮崎県北諸県地域を中心に—	村上常道(宮崎大学大学院農学 工学総合研究科), 山本直之・狩 野秀之・甲斐重貴(宮崎大学農学 部)	10:20~ 10:40	2-5	田代正一 (鹿児島大 学農学部)	地域農業政策としての循環社会の 取り組みに関する研究	中村修(長崎大学大学院生産科学 研究科), 遠藤はる奈(長崎大学大 学院生産科学研究科博士後期課 程)
1-6	佐藤剛史 (九州大学 大学院農 学研究院)	集落営農組織における省力化の現 状と課題—米・麦・大豆作の「ぐるみ 型組織」を事例にして—	中原秀人(福岡県農業総合試験 場)	10:40~ 11:00	2-6	内藤重之 (琉球大学 農学部)	アメリカ花卉産業における流通と生 産農家の発展条件—カリフォルニ アの花壇花生産農家を事例として —	松嶋 新(佐賀大学大学院 農学 研究科)
1-7	狩野秀之 (宮崎大学 農学部)	農山村経済における公共事業依存 度の計測	田中 紘一(九州大学大学院生物 資源環境科学府)	11:00~ 11:20	2-7	内藤重之 (琉球大学 農学部)	しょうがい者作業所における園芸 生産・販売に関する事例研究	林典生(南九州大学環境園芸学 部)
1-8	狩野秀之 (宮崎大学 農学部)	農地・水・環境保全向上対策と活動 組織の評価に関する考察—多基準 分析による地目別の比較—	保永 展利((社)北海道未来総 合研究所)	11:20~ 12:00	2-8	矢部光保 (九州大学 大学院農学 研究院)	Analysis of Profit efficiency and the profit loss determinants among the cardamom farmers in hilly-region of Nepal	Bhima Dhungana1, Hideyuki Kano2, Naoyuki Yamamoto2 and Yoshihito Sugimoto2 ※1(Interdisciplinary Graduate School of Agriculture and Engineering, Department of Environment and Resource Science, University of Miyazaki, Japan), 22 Faculty of Agriculture, University of Miyazaki, Japan
1-9	狩野秀之 (宮崎大学 農学部)	A Study on Situation of Myanmar Economy Using a New Estimated Input-Output Table (2000-2001)	NAN KHINE SU THWIN (Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Science, Kyushu University), Taiji YOSHIDA (Faculty of Agriculture, Kyushu University), Koshi MAEDA (Faculty of Agriculture, Kyushu University)	13:20~ 13:40	2-9	矢部光保 (九州大学 大学院農学 研究院)	Significance and Developing Conditions of Pasars for the Local Inhabitants— Case Study of an Old Pasar Established 300 years ago in Pekanbaru City, Indonesia —	Willel JF. Alfa Tumbuan and Yoshiharu Shiratake*(The United Graduate School of Agricultural Science, Kagoshima University,*Faculty of Agriculture, Saga University)
1-10	豊智行(鹿 児島大学 農学部)	農産物直売所が消費者と生産者に 与える顧客満足機能の解析	李 静(中村学園大学流通科学研 究科), 甲斐 諭(中村学園大学流 通科学部)	13:40~ 14:00	2-10	伊東正一 (九州大学 大学院農学 研究院)	Causes of a Decreasing Wheat Production and its Influence on the Economy of Wheat Household Farmers and Wheat-Related Sectors in Suburban Dhaka, Bangladesh— Case Study of the Wheat Marketing System in Muradnagar, Comilla —	Md. Mijanur Rahman and Yoshiharu Shiratake(Faculty of Agriculture, Saga University)
1-11	豊智行(鹿 児島大学 農学部)	国産農水産物輸出目標計画の策定 経過とその問題点	棚木誠(九州大学生物資源環境 科学府)	14:00~ 14:20	2-11	伊東正一 (九州大学 大学院農学 研究院)	Impact of importing powder milk on the dairy sector of Bangladesh	Md. Monjurul Hoque and Yoshiharu Shiratake(Doctor course student, Kagoshima University) (Prof. Saga University)
1-12	豊智行(鹿 児島大学 農学部)	福岡県における香港向けいちご輸 出事業の展開に関する考察	徐 セイ威(九州大学生物資源環 境科学府), 福田 晋(九州大学農 学研究院)	14:20~ 14:40	2-12	岩元泉(鹿 児島大学農 学部)	The Effects of PACT Microfinance Program in Dry Zone Area of Myanmar	Nem Nei Lhing*, Teruaki Naneki**, Kazuhiko Hotta**, and Shoji Shinkai** (*Graduate School of Bioresource and Bioenvironmental Science,**Faculty of Agriculture, Kyushu University)
				14:40~ 15:00	2-13	岩元泉(鹿 児島大学農 学部)	A Case Study of Oilseed Crops Market Performance in Selected Areas of Myanmar	Win Pa Pa Soe(Laboratory of Food Marketing, Graduate school of Bio-resource and Bio- environmental Science, Department of Agricultural and Resource Economics, Kyushu University), Susumu FUKUDA (Department of Agricultural and Resource Economics, Faculty of Agriculture, Kyushu University)

※2009年